

あなたの街の警察官

◎ 薬物乱用の実態

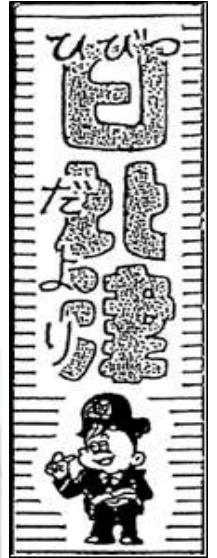
日本は、覚醒剤、大麻等の大きな消費国となっています。

愛知県内で覚醒剤等の薬物事犯で検挙された人は、平成8年以降、ずっと1,000人を超える高水準が続いています。

薬物乱用の恐ろしさは、何度でも繰り返し使用したくなる“依存性”を持っているということです。

繰り返し使用するうちに、薬物の中毒症状として、「殺される」、「つけられている」、「見張られている」などといった妄想や幻覚が現れます。

薬物の乱用は、無関係の人々を巻き込む殺人や放火などの二次犯罪を引き起こし、社会に悪影響を及ぼしたり、家庭の崩壊を招いたり、その悲劇は本人のみにとはとどまりません。



中村警察署
052-452-0110



覚醒剤等の薬物追放にご協力を

覚醒剤や大麻は、興味本位から気軽に手を出したり、覚醒剤がやせる薬、大麻は音感がよくなるなどと騙して進められたり、覚醒剤のことをS(エス・スピード)、大麻のことをマリファナ、クサなどと呼んで、何か格好良いもののよう錯覚して手を出したりして、特に若者の間に汚染が広がっています。

覚醒剤等の薬物を社会から追放するためには、あなた自身が甘い誘いに乗らないことはもちろん、あなたの周りで覚醒剤等の薬物を扱っている人を見たり聞いたりしたときは、警察本部か最寄りの警察署、交番、駐在所までご連絡ください。



iOS端末



Android端末

